

G

東十郷まちづくり協議会会報誌

vol.31

Gochan NEWS

NO WAR



春季号

絵手紙で巡るえち鉄の旅

三国芦原線&勝山永平寺線

絵手紙作品展「絵手紙で巡るえち鉄の旅」(東十郷まちづくり協議会/教育文化部会主催)が1月20日から2月20日まで、坂井市のJR丸岡駅こうちやんギャラリーで開催された。

三国港駅から始まりあわら湯の町駅を通り福井駅までの23駅と福井口駅から永平寺口駅を通過して勝山駅まで計44駅が中心。

「終着駅は寂しそうだけど」のキャッチフレーズの入った三国港駅、

「躊躇の格好をした駐輪場がある」大開駅、

「この木何の木、気になる木」の西春江ハートピア駅、「駅はセピア色、街はロマン色」の田原町。前時代的な建物が嬉しかったのに今は現代的になってしまった。

「一番列車をまつ。夏なのに寒い」の新田塚駅と、三国港芦原線の特徴を描いている。

駅と電車がかかれています、周りの風景や花、樹木、建物がかかれています。

勝山永平寺線は開発駅が楽しい。散髪屋さんの広告が嬉しい。越前竹原駅は雪の中。凍える手をハアハアしながらの力作だ。

松岡駅はかいている途中で近くの小学校から放送が流れてくる。

「ごもさんが帰る時間です。戸を開けて見守りましょう」と防犯意識が心にしみる。

轟駅なんてどう読んだら良いんだろう。

勝山駅は「恐竜の町に雨が降る」

「まつもと町屋」駅を新しすぎて面白みに欠ける

と除外し、残りの44駅を作品化している。

旅行で訪れた愛媛県松山市の道後温泉やインドサルナートのガンジス川、ネパールのルンビニ、フランスの世界遺産モンサンミッシェルを描いた作品や、

「井戸端の議長はいつもうちの妻」

「化粧を落とせば下絵のような顔」

などの川柳に野菜の絵を添えたうちわも12点ある。「下手でいい、下手がいい」というのが絵手紙の基本。絵は苦手ですが、下手な作品の中に面白さを見つけてもらえればいい。」と話している。

(文)編集部/日刊県民福井



御油田の名刹『演仙寺』

越前万歳「おはや良作」悲恋物語
東十郷の名所名店2



豊原三千坊に由来する
女性住職も誕生し法燈を
護った由緒ある寺院。

浄土真宗
本願寺派
演仙寺

「演仙寺」の由来と変遷

丸岡城から東へ約4kmの山あいには、かつて「豊原三千坊」と呼ばれる多くの僧坊がありました。

その一つ、演仙坊の肇尊は、文明3年(1471)吉崎御坊を開かれた蓮如上人を訪ね、その教えに帰依して「南無阿弥陀仏」の御染筆と法名「浄尊」を賜わり、丸岡町乗兼にお念仏の道場を開き、程なくして御油田に移りました。御油田は豊原寺のお灯明の料地であり、ゆかりの深い土地でした。

文明7年(1475)、蓮如上人が吉崎を退去されると、浄尊は上人の四男、加賀国山田の蓮誓に仕えました。子がなかった浄尊は蓮誓の子(女)をもらい受け、また遠縁の男子を迎え入れ、二人は長じてから夫婦となります。

しかし、夫(第二代)の早逝により、妻は26歳にして第三代を継ぎ、受惠尼と称しました。

やがて信長の時代になると、天正3年(1575)信長軍が越前に侵攻して、一向一揆に対する弾圧が強くなり、一家は木部高柳に疎開した時期もありました。

受惠尼は一揆に揺れた時代を乗り越えて卒寿に至るまで、65年間女性住職として法燈を護りました。

「おはや良作」悲恋物語

文化5年(1808)5月6日、長畑で心中事件が起きました。身分制度が厳しい時代、金沢藩士安達家の次男良作と、商人秋屋屋の娘はやが、相思相愛の仲となり、北陸道を駆け落ちしたのです。

はやの養母そよは跡を追い、福井で二人を見つけると、はやをむりやり連れ帰ります。

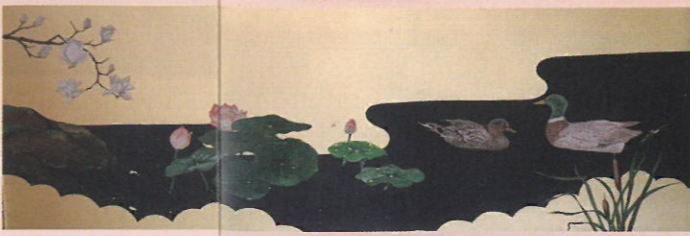
良作ははやを殺し自分も自害しようと籠に刀を突き入れました。ところが、それはそよであり、返す刀で別の籠のはやをも殺害し、自らも自害したのです。

前代未聞の大事件で、一里塚付近の三が村の村役人の依頼により、第十二代淳信が葬儀を執り行いました。当寺には二人の誓い文、遺言状などが伝えられています。

「おはや良作」瓦像

心中事件があつてから折しも200回忌に当たる1907年、越前瓦鬼師・西郡正義氏の熱意により、「おはや良作」瓦像を制作していただきました。

この世では添い遂げることができなかった二人が、仲良く見つめ合っている姿が、演仙寺本堂内に安置してあります。また、東十郷コミュニティセンター階段には、瓦で表現した壁画が飾られています。
演仙寺前住職(十八代)多田文樹 記



多田文樹 090-8090-1631

坂井市坂井町御油田 8-8

JR丸岡駅より徒歩約33分

※この冊子に掲載をご希望の方は振るってご応募ください。



坂井高校の生活デザインコース3年生が1月16日、坂井市ハートピア春江で、卒業制作発表会としてファッションショーを開いた。
 高校生活の集大成として制作した華やかなドレスをまといステージを彩った。
 テーマは Last Princess(ラストプリンセス)。生徒たちは昨年7月からドレスをデザインし自作、今月完成させた。ショーには31人が参加。
 生徒自身がモデルとなり、ふわっとしたシルエットの本格的なドレスやレースをあしらった大人っぽい作品、2年時に作った浴衣を披露した。
 淡い水色や赤、黄、パステルカラーなど華やかなドレスに身を包んだ生徒たちは、歩き方や衣装の見せ方のレッスンを受けて本番に臨んだとあり、
 優雅なステージが繰り広げられた。最後は出演者全員が勢ぞろいし、在校生や家族から大きな拍手を浴びた。
 五十嵐ゆりなさんと齊藤優奈さんがあいさつし「このメンバーとステージに立つことができ、最高の思い出ができた」と笑顔で話した。

(福井新聞 1月21日掲載)

3年間の集大成、最高の思い出に。
 坂井高校卒業制作ファッションショー。

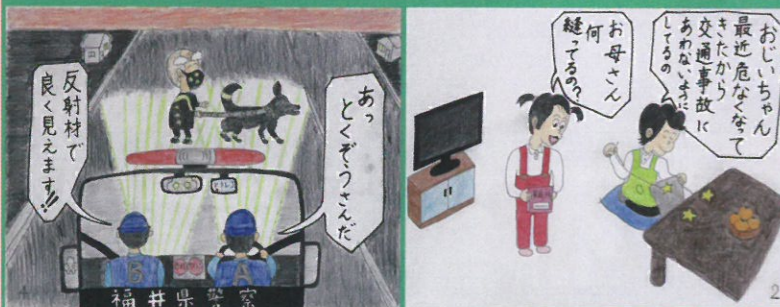
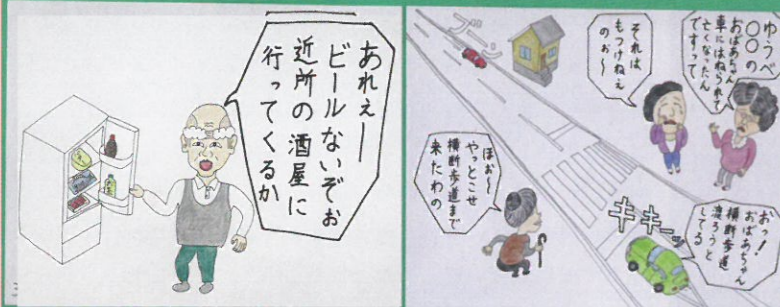


交番日誌 / KOBAN diary

『反射材』
 夜間の歩行者は、車から見えにくく危険！
 反射材を付ければ、車のライトで照らされて、早く気付いてもらえます。
 反射材は、子どもからお年寄りまで、安心をサポートします。
 被害防止のために、留守番電話に設定してください！

ワンポイントアドバイス
 《反射材編》

家族の絆で交通事故防止



車に気付けての～
 反射材着けとくと
 いいんやざあ～!! ☆◎
 ～坂井警察署みんなで守る座
 徳三(とくさう)～

6月17日は[おまわりさんの日]



健康福祉講演会 11月21日(日)

今年の健康講演は、「心も体も元気に、健康に」と題して、認知症の理解・予防・支援の内容で、作業療法士の奥村明美先生をお招きし、最新の情報とともに、まずは予防が大切だとの話をお聞きしました。



手づくり味噌教室 2月10日(木)

昨年に続き「手づくり味噌教室」を行いました。米五のスタッフの方に指導いただき、少しでも自分の手をかけることの大切さと楽しさを感じることができました。お味噌汁もきつと一味違うことでしょう。



春の安全パトロール 3月19日(土)

防災安全部会の活動として、安全パトロールを行いました。東十郷地区内を巡回し、危険個所の確認と一時避難場所の確認・表示板の確認をしました。最近、各地で地震等が発生しています。ご自分のお住まいの地区の避難場所や家族の集会所・連絡方法等を確認しておきましょう。



子ども陶芸教室 12月25日(土)26日(日)

当センターには陶芸窯があります。その特徴を生かし、坂井町内の小学生を対象に放課後子ども教室の一環として「子ども陶芸教室」を行いました。10名の参加があり、それぞれが個性あふれる作品を制作していました。また、作品は「東十郷ふれあいまつり」に展示しました。



駅舎で展示

2月21日(月)～3月21日(月)
 恒例の「駅舎で展示」今回もお雛様が勢ぞろい。七段飾り三組と60年近く前のお雛様がごうちゃんギャラリーを華やかにしてくれました。また、入り口には、折り鶴やつるし飾りも飾られ、3月から無人化となった駅を和ませてくれました。駅の活用について、皆様のアイデアを募集しています。



教育文化講演会

12月4日(日)
 丸岡町 女性寺住職 霊河秀樹は浄土真宗の住職としてお勤めのかたわら、趣味のギターを手に、いろいろなところで弾き語りのお話をされています。今回は、「ご縁をいただきながら…」と題して、人の出会いの必然性と、その出会いを大切にしながら生きていこうとの心に残るお話でした。



東十郷ふれあいまつり

3月6日(日)
 新型コロナウイルス感染症のため、2年続けて中止となった「東十郷ふれあいまつり」当初は、ミニコンサートとキッチンカーの来店も予定していましたが、展示部門だけで実施。生け花・習字・陶芸・書・パッチワーク・色鉛筆画など、たくさんの出品をいただきました。展示用のパネルも一部新しくなり、今後順次更新していく予定です。

シングルレコードを集めています。

たくさんの方からレコードをご寄付いただき、ありがとうございます。「レコード鑑賞会」のために、シングルレコードがもう少し集まればと…と、思っています。シングル盤をお持ちの方、コミセンにご寄付いただければ幸いです。



6年生を送る会

東十郷小学校

6年生を送る会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、全校を2グループに分けた二部制で行いました。

子供たちが教室にいるときは大型モニターでライブ配信を見ました。送る会のスローガンは「一歩ずつ 夢に近づけ 6年生!」です。

在校生は練習を積み重ねてきた発表で6年生に感謝の気持ちを伝えました。発表を見た6年生は、「ありがとうの気持ちが伝わってきた。」と言っていました。

6年生は挑戦することのすばらしさをパフォーマンスで在校生に伝えました。フィナーレのキャンドルサービスでは、6年生一人ひとりがろうそくを持ち、ゆらめく炎を見つめながら6年間を振り返っていました。



SCHOOL

学校の今



令和3年度 MH 企画研究・課題研究発表会

坂井高等学校



会議室での発表



教室で視聴する生徒

令和4年2月10日(木)に上記の発表会を実施しました。コロナ禍の第6波の影響により会議室での3年生の発表を教室や外部へ配信する形にはなりましたが、教室では1、2年生全員が参加しました。また、MH事業の本校関係者の方々にはZoom配信でご視聴いただきました。

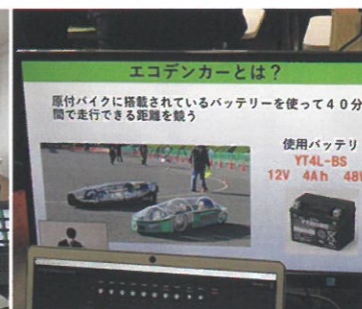
従来、生徒たちは自分が所属するコースの発表しか見る機会がありませんでしたが、今年度のこの企画で初めてすべてのコースの代表的な研究発表を見ることが出来ました。

他のコースの発表に触れたことで他コースへの理解を深められたのではないかと思います。そして、学科やコースを横断する研究に発展することや自分の研究に対する新たな気づきに繋がってくれることを期待しています。本校のMH事業に支援や助言をいただいている方からは「課題研究をやり遂げることによる達成感から自己肯定感に繋がっている」、「地域や企業と関り試行錯誤しながらの取り組みで成長している」等のご感想をいただきました。

※本文中の「MH」は「マイスター・ハイスクール」の略表記



会議室で配信の様子



発表スライド

いらっしゃいませ♪

坂井こども園

「いらっしゃいませ、いらっしゃいませー」みんなで作った品物が並んだお店さんが開店しました。「どれにしようかなあ。」「ハンバーガーください。」と真剣に悩む子ども達。今年はバイキング形式のお弁当屋さんも出店して、大繁盛の2日間でした。



繭玉を使ってコサージュづくり!

坂井松涛こども園

ゆめおーれ勝山でいただいた蚕が繭を作りだし、きれいな白い繭玉ができました。

ピンク色に染めた繭はまるで和紙のように美しく暖かな触り心地になり、その繭玉を使って親子で「コサージュ作り」をしました。

もちろん繭の中にはサナギが入っていますが、驚くことなくそっと取り出して制作に取り組み、個性的なコサージュが完成しました。

いよいよ3月に卒園を迎える年長さんたち。小学校への期待を膨らませ、胸元に輝く繭コサージュとともに、小学校でも輝いていくことと楽しみにしています。



3年・租税教室

坂井中学校

2月9日(水)、10日(木)、3年生の社会科授業の一環として「租税教室」を実施しました。2日間に分けて、学級ごとに授業を行いました。主催は、坂井地区租税教育推進協議会で、当日は、坂井市内の税理士の方(コロナ感染対策のためオンラインで)と本校社会科教員が共同して授業を行いました。

目的は、暮らしを支える税の意義や役割を理解し、また税に関する意識を高めることです。

社会科では公的分野で「財政と国民の福祉」を5時間かけて学習し、その内の1時間を租税教室としました。授業では、講師の質問に対して、生徒がグループで話し合い、その考えを学級全体で共有し、「税を公平に徴収する」という視点で考えを深めました。

社会の一員としての役割を自覚する有意義な時間となりました。





東十郷まちづくり協議会

〒919-0511 坂井市坂井町長畑 25-11-1 東十郷コミュニティセンター内 東十郷まちづくり協議会
E-Mail : jugo-p@m3.fctv.ne.jp (お問い合わせやご意見・ご感想もこちらまでお気軽にどうぞ)
<http://www3.fctv.ne.jp/~jugo-p> ※この冊子に掲載をご希望の方は振るってご応募ください。 TEL: 0776-66-4567 FAX: 50-3083

東十郷地区紹介 KITAMIYARYOU 北宮領



地区の紹介

北宮領区は、戸建て住宅団地として誕生し、今年（令和4年）で46年（昭和51年に初代区長が就任されており、その年を元年とする）になります。周りは田んぼに囲まれており、東側には田島川が流れるなどのどかな住宅地になっています。また周辺施設として、こども園や小・中・高校が徒歩で通える範囲にあり、公共機関や商業施設も近く、とても暮らしやすい環境です。

行事／イベント

区の大きなイベントとして、夏の区民祭が行われます。祭りの始まりとして、子供神輿の巡行が行われ、子供達の元気な声が区内を巡ります。その後、みんなで会場設営を行った公園にて、手作りの出店やチャリティーバザー、ピンゴ大会やカラオケ大会等 夜まで賑やかに行われます。

また ソフトボール、グランドゴルフ、ゲートボール等のスポーツイベントへの参加、春の大掃除やクリーンキャンペーン等の奉仕活動にも参加しています。

こうして1年を通して区民の方々の交流の場が設けられています。ここ2年ほどコロナ過の為、祭りやレクリエーションのイベントが中止になっています。

今後 ウィズコロナ時代におけるイベントの在り方も考えていかなければいけないと思います。いつかまた祭りやイベントが区民の皆さんと笑顔でできるようになることが望まれます。

(北宮領区 区長 松沢 祐輔)

